

口は健康のもと Vol.91

急増している顎関節症 生活習慣、姿勢など関与

あごを動かすとポキポキ音が鳴る、口が大きく開かない、あごの関節が痛む。このような症状のある方は顎関節症（がくかんせつしょう）と呼ばれています。

ストレス社会と言われて久しい今日、急増中の疾患です。症状は自然に治る軽症のものから、仕事はおろか日常生活さえままならない深刻な症状に苦しめられる重症の方もいます。原因は何なのか？ いったいなぜ増えているのか？ 顎関節症は生活習慣、身体の姿勢や食品の嗜好などが関与していますので、これらを考え直すサインなのかもしれません。

顎関節症の主な症状は次に挙げる5つです。①あごが痛む、②口が大きく開けられない(開口障害)、③あごを動かすと音がする(関節雑音)、④噛み合わせに違和感がある、⑤口を完全に閉じることができない。これらの症状がひとつ、もしくはいくつか重なって現れます。

自分は上下とも総入れ歯なので関係ない？ いえいえ、上下とも総入れ歯でも顎関節症は起こります。気になる方は、お近くの歯科医院に相談してください。



奥羽大学歯学部附属病院 総合歯科

講師 竹内 操